

青森県地域密着型金融推進プラン (略称:リレバン推進プラン)

～ リレバンの先進県を目指して ～

県内中小企業の金融円滑化に向けた、今後5年間(平成25年度～平成29年度)の県としての基本的な取組方針

本プランの
目指す状態

「中小企業は、金融機関に対し、自社の経営実態等に関する情報を積極的に提供し、金融機関からは、当該情報に基づく最適な金融サービスが提供されている。」という親密な関係を長く維持することにより、県内中小企業がその持てる力を存分に発揮できる金融環境が整っている状態(＝**地域密着型金融の実現**)。

県内の
諸情勢

【社会経済情勢】

- 中小企業数の減少
 - 低水準の貸出金利
 - 貸出金残高の減少
 - 地価の下落
- 企業を育てるビジネス
モデルへの転換必要
→従来型の不動産担保主義に限界

【リレバン・レポートより】

- 試算表は3割、資金繰り表は7割が作成せず
- 金融機関への自発的な情報提供は1割に満たず
- 情報提供を受けた金融機関の積極的対応は7割
- 金融機関のコンサルティング機能への満足度低い

克服すべき
課題

【課題1】

中小企業による的確な情報提供

中小企業が、金融機関に対して、いかに的確に自社の経営実態等に関する情報を提供するか。

【課題2】

適切な資金供給機能の提供

金融機関が、中小企業に対して、いかに適切な資金供給機能を提供するか。

【課題3】

質の高いコンサルティング機能の提供

金融機関が、中小企業に対して、いかに質の高いコンサルティング機能を提供するか。

取組方針

- ①経営者の意識改革
- ②中小企業のスキルアップ
- ③中小企業の経営実態等の提供に係る情報不足の解消
- ④金融機関側の受入体制の強化

- ①不動産担保や個人保証に過度に依存しない資金供給機能の提供
- ②中小企業のライフステージに応じた適切な資金供給機能の提供
- ③多様な資金供給の担い手との連携強化

- ①的確な中小企業ニーズの把握
- ②コンサルティング機能の強化
- ③外部機関との連携による質の高いコンサルティング機能の提供
- ④企業再生支援体制の強化

本プランの
着実な推進
のために

①各機関の連携による取組を強化
「リレバン推進ワーキンググループ」を常設化のうえ、連携実行機関とし、各機関各々の取組と2つの実行エンジンでプランを推進する。

②「リレバン・レポート」の発信強化
「リレバン・レポート」の発信力を強化し、中小企業の地域密着型金融に対する理解を促進する。

③制度金融運営協議会の機能強化
青森県中小企業再生支援協議会をメンバーに加え、地域密着型金融の取組と企業再生との連携を強化する。

リレバン推進ワーキンググループ活動中間報告 (平成26年度アクションプラン進捗状況報告)

平成26年11月7日

2 構成メンバー

(順不同、敬称略)

機関名	職名	氏名
青森銀行	法人営業部地域開発課	原子 朋也
みちのく銀行	営業戦略部担当役	太田 紀子
青い森信用金庫	営業統括部副部長	小笠原 寿裕
東奥信用金庫	融資部融資課主任	村上 文彦
青森県信用組合	審査部次長	神山 善浩
青森県信用保証協会	業務部業務課長	葛西 啓智
青森商工会議所	中小企業振興部部長代理兼経営相談課長	鳥谷部 義彦
弘前商工会議所	経営支援課長	野呂 和宏
八戸商工会議所	中小企業相談所振興課長	田村 武智
青森県中小企業団体中央会	連携支援1課長	加川 正宏
青森県商工会連合会	事務局次長兼広域指導課長	苫米地 勝
青森県中小企業再生支援協議会	副統括責任者	石村 誠二
青森県	商工政策課商工金融GM	上沢 謙一
青森県	商工政策課主査	田中 文理
青森県	商工政策課主査	福沢 一郎
青森県	商工政策課主事	鳴海 健太郎

3 開催状況

- 第1回 平成26年5月1日(木)
 - ・今年度の検討内容について(アクションプランの検討)
- 第2回 平成26年7月3日(木)
 - ・アクションプランに基づく今後の取組について(検討方針・対応等)
 - ・県特別保証融資制度の利用状況等について
- 第3回 平成26年7月25日(金)
 - ・アクションプランに基づく取組について
 - ・県特別保証融資制度の利用状況等について
- 第4回 平成26年9月16日(火)
 - ・アクションプランに基づく取組について
 - ・「リレバン・レポート'14」について(アンケート重点テーマ等の検討)
- 第5回 平成26年10月16日(木)
 - ・アクションプランに基づく取組について
 - ・「リレバン・レポート'14」について(アンケート及び資料編の検討)

4 アクションプラン各項目の取組概要

(1) リレバン・レポートの発信強化

取組内容(アクションプラン)	これまでの活動の成果	今後の取組
<ul style="list-style-type: none"> ①県が、「リレバン・レポート」及び「円滑な資金調達のためのQ&A」説明が可能な商工団体の主催行事等を定期的(概ね2ヶ月毎)に確認する。 ②県が、説明の希望があった機関と日程等を調整する。 ③商工団体の主催行事等において、県がリレバン・レポートを説明する。 ④WGが、聴講者からの意見等を確認するためのアンケートを作成する。 ⑤県が、受講者に対してアンケートを実施する。 	<p>□リレバン・レポート等の説明</p> <p>中小企業、経営指導員等を対象とする商工団体主催の研修会等において説明対応</p> <p>4/23 青森商工会議所生活商業部会研修会 6/10 経営指導員等研修 8/20 八戸商工会議所小規模企業振興委員懇談会</p> <p>□アンケートの作成・実施</p> <p>説明の評価や受講者による気付き・業務へのアウトプット、意見の把握等を目的に、6月以降、説明時にアンケートを実施</p> <p>説明に対する評価:「理解できた」「どちらかといえば理解できた」という意見多数</p> <p>業務への取り入れ等への意見:経営状況把握の必要性を理解し「把握に向けて取り組んでいきたい」という意見や、経営指導へ役立てたいという意見</p>	<p>○説明機会を確認し、県が順次対応(説明等)</p>

(2) リレバン・レポートの充実強化

取組内容(アクションプラン)	これまでの活動の成果	今後の取組
<ul style="list-style-type: none"> ①WGが、今年度作成する「リレバン・レポート」の重点テーマ等について検討する。 ②WGが、検討テーマ等を踏まえたアンケート調査項目を具体的に設定する。 ③県が、「リレバン・レポート」作成に向けたアンケートを実施する。 ④県が、アンケートを取りまとめ、各機関の意見等を踏まえて「リレバン・レポート'14」として作成する。 	<p>□リレバン・レポート'14作成に向けた検討</p> <p>今年度のリレバン・レポート作成に向け、中小企業向けアンケートの重点テーマ、アンケート調査項目、資料編の掲載内容等について検討・整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○県内企業2,500社にアンケートを実施 ○集計結果を踏まえた分析 ○リレバン推進プランの課題克服に向けた取組成果(資料編)を取りまとめ

(3) 試算表等作成に向けた情報ツールの周知

取組内容(アクションプラン)	これまでの活動の成果	今後の取組
<ul style="list-style-type: none"> ①WGが、試算表等作成に向けた各種情報(セミナー開催情報や県作成のフォーマット等)の周知方法を検討する。 ②WGが、試算表等作成支援情報を取りまとめ、企業に対して周知するために内容等を整理(例:チラシの作成)する。 ③企業向けに整理した情報(例:チラシ)を関係機関に送付する。 ④金融機関や商工団体等が、企業に対して送付(例:チラシ配付)し、周知を図る。(必要に応じて対応) ⑤県(WG事務局)が、定期的に情報を更新し、関係機関に送付する。 	<ul style="list-style-type: none"> □試算表等作成に向けた各種情報掲載ホームページの作成【準備中】 <p>試算表等作成に資する情報(試算表等の重要性の解説、セミナー等開催情報、作成支援ツール等)を盛り込んだホームページを県ホームページ内に作成し、掲載ページを県内支援機関を通じて企業に周知する予定(チラシ等の作成を検討)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページを作成 ○支援機関及び企業へ周知

(4) 技術等に関する相談窓口の活用

取組内容(アクションプラン)	これまでの活動の成果	今後の取組
<ul style="list-style-type: none"> ①金融機関等が、企業からの技術的な相談に対して、ルールに従って積極的に相談窓口(21財団)を紹介する。(必要に応じて対応) 	<ul style="list-style-type: none"> □相談窓口活用再周知(ルール変更時) □スキーム活性化に向けた現状等の確認 <p>窓口活用に向けて、技術に関する相談状況等の現状及び相談があった場合の各機関の対応について意見交換</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各機関の状況に応じて相談窓口を活用

(5) 地公体融資制度の利用促進

取組内容(アクションプラン)	これまでの活動の成果	今後の取組
<p>①県が、県内市町村における制度内容を取りまとめ(市町村への確認を含む)、わかりやすく整理した資料(「目的別早見表」及び「制度一覧表」)を関係機関に提供する。</p> <p>②金融機関融資担当者が、企業からの融資申込時に活用する。</p>	<p>□目的別早見表等の作成</p> <p>金融機関融資担当者等の業務効率化のため、県・市町村融資制度の「目的別早見表(地域別)」及び「一覧表」を作成、関係機関に送付。各機関において有効に活用</p>	<p>○各機関による活用により円滑に対応</p>

(6) 技術等に関する知識の習得

取組内容(アクションプラン)	これまでの活動の成果	今後の取組
<p>①INAが、技術等に関する研修会(アドバイザー養成講座等)を開催する。</p> <p>②県が、INA等と研修会開催に最適な時期を検討し、開催を依頼する。</p> <p>③県が、関係機関から研修開催に対する要望事項(テーマ、時間、場所、対象者、人数等)を確認する。</p> <p>④県が、要望事項を取りまとめ、開催に向けて調整する。(一部INAが調整)</p> <p>⑤INAが、中小企業支援担当者向けに研修会を開催する。</p> <p>⑥WGが、受講者からの意見等を確認するためのアンケートを作成する。</p> <p>⑦研修会において、INAが、受講者に対してアンケートを実施する。 (WGをINAと合同で開催する(新技術等の情勢把握等)。)</p> <p>※INA: イノベーション・ネットワークあおもり</p>	<p>□研修会の実施</p> <p>中小企業を支援する認定支援機関や金融機関融資等担当者向けに補助金申請支援に必要な知識の習得や企業・大学等の橋渡し役となる人材養成に向けたセミナー・講座を開催 5/19,21,22 補助金制度セミナーfor認定支援機関 7,16,7/17,9/2 INA連携アドバイザー養成講座</p> <p>□アンケートの作成・実施</p> <p>講義の評価や受講者による業務へのアウトプット、研修内容のニーズの把握等を目的にアンケートを実施(7月以降)</p> <p>講義に対する評価:全体・各講義とも「大変有意義だった」「有意義だった」という意見多数 業務への取り入れ等への意見:「アドバイスやコーディネートにいかす」「連携の拡大・強化を図りたい」という意見 今後の研修で取り入れてほしいテーマ:「具体的な(身近な・県内の)事例」「補助・助成制度」等</p>	<p>○今後とも実施機会を確認し、順次対応</p>

(7) 各種情報の企業への周知徹底

取組内容(アクションプラン)	これまでの活動の成果	今後の取組
<p>①県が、各種情報を取りまとめ、「リレバン推進情報メールマガジン」として各機関に対して定期的に配信する。</p> <p>②各機関が、企業に対して適切に周知(徹底)する。(内容等に応じて対応)</p>	<p>□『リレバン推進メールマガジン』の定期的な配信</p> <p>県が、中小企業支援に資する各種施策情報(補助・助成金、イベント・セミナー等)を取りまとめ、特徴やセールスポイントを明確にした情報により、中小企業支援機関に対してメールマガジンとして定期的に(隔週)配信</p>	<p>○定期的な情報配信を継続</p> <p>○必要に応じて配信方法を見直し(検討中)</p>

「リレバン・レポート'14」について(案)

(今年度のアンケートのポイント)

ポイント

新規 1. 支援機関のコンサルティング機能に対する評価

- 県内企業が認識する経営課題とは 【Q11】
- 経営課題への対応(支援機関の活用)の現状 【Q12】
- 支援機関のコンサルティング機能に対する満足度 【Q13~16】

継続 2. リレバンの取組に対する評価の定点観測(継続調査)

- 総合満足度/個別項目満足度 【Q2, 10】
- 融資謝絶経験の有無等 【Q3, 4】
- 融資謝絶時における金融機関のフォローや企業行動の実態 等 (強化) 【Q5~9】

強化 3. 金融機関等の資金供給及び経営支援の取組に関するデータ

- 貸出金量(中小企業向け貸出), 預貸率, ABL, 私募債等の多様な資金供給の状況
- 経営支援(企業のスキルアップ支援, ビジネスマッチング, 経営改善支援等)の取組状況 (新規)

金融機関の融資業務等に関するアンケート調査

県では、県内中小企業金融の円滑化を図るため、地域密着型金融（※）の推進を支援しています。

このアンケート調査は、普段のお取引が最も多い金融機関(メインバンク)等について、その融資業務等に関する中小企業者の皆様のご意見をお聞かせいただき、今後の地域密着型金融の推進のための基礎データとすることを目的として実施するものです。

アンケート調査結果は、平成27年2月に「リレバン・レポート'14」として公表することを予定しています。

つきましては、ご多忙中とは存じますが、趣旨をお汲み取りいただき、率直なご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

平成26年11月 日

青森県商工労働部商工政策課長

(※) 地域密着型金融（リレーションシップ・バンキング＝リレバン）

金融機関が顧客との間で親密な関係を長く維持することにより、顧客に関する情報を蓄積し、この情報を基に金融サービスの提供を行っていくこと。

<ご記入にあたって>

- 本アンケートは、普段のお取引が最も多い金融機関(メインバンク)の融資業務等についてお伺いします。
- 本アンケートは統計的に集計し、回答者が特定されたり、目的外に利用することは一切ありません。
- ご回答の方法や本アンケートの趣旨について、ご不明の点がありましたら、下記の担当までお問い合わせください。

[担当] 青森県商工労働部商工政策課 商工金融グループ 田中
〒030-8570 青森市長島1-1-1
TEL 017-722-1111 (内線3623) 017-734-9368 (直通)
FAX 017-734-8106
E-mail:fumiyoshi2_tanaka@pref.aomori.lg.jp

※県では、昨年も同様のアンケート調査を実施しており、その結果は「リレバン・レポート'13」として公表しています。

「リレバン・レポート'13」は、こちらでご覧いただけます。

(青森県ホームページ)

http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/shoko/shoko/files/260212_report13.pdf

Q 1 貴社で、普段の取引が最も多い金融機関(メインバンク)はどちらですか。該当する金融機関の番号に○印をおつけください(○印は1つ)。

- | | | |
|-------------------------------|------------|------------|
| 1. 青森銀行 | 2. みちのく銀行 | 3. 青い森信用金庫 |
| 4. 東奥信用金庫 | 5. 青森県信用組合 | 6. 県外地方銀行 |
| 7. 政府系金融機関(日本政策金融公庫、商工組合中央金庫) | | |
| 8. その他(具体的に) | | |

Q 2 Q 1で選んだ金融機関(メインバンク)に対する総合的な満足度について伺います。該当する番号に○印をおつけください(○印は1つ)。

大変満足 かなり満足 まあ満足 普通 やや不満 かなり不満 大変不満

1	2	3	4	5	6	7
---	---	---	---	---	---	---

Q 3 Q 1で選んだ金融機関(メインバンク)について伺います。この1年間でこれまでに、融資や条件変更(金利の引き下げ、金利・元本の支払い猶予、返済期限の延長など)を申し込んで断られたことがありますか。該当する番号に○印をおつけください(○印は1つ)。

- | | | |
|------------|-----------|------------------|
| 1. ない→Q10へ | 2. ある→Q4へ | 3. 申し込んでいない→Q10へ |
|------------|-----------|------------------|

Q 4 Q 3で「2. ある」とお答えの方に伺います。断られた理由についてどのような説明を受けましたか。該当する番号に○印をおつけください(○印はいくつでも)。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 返済財源に乏しいから | 2. 資金使途の妥当性がないから |
| 3. 事業計画の達成可能性が低いから | 4. 社外保証人をつけられないから |
| 5. 担保余力がないから | 6. これまでの返済状況が良くないから |
| 7. 信用保証協会に断られたから | 8. 総合的な判断によるもの |
| 9. その他(具体的に) | |

Q 5 Q 3で「2. ある」とお答えの方に伺います。断られた理由の説明について納得しましたか。該当する番号に○印をおつけください(○印は1つ)。

- | | |
|---------|------------|
| 1. 納得した | 2. 納得しなかった |
|---------|------------|

Q6 Q3で「2. ある」とお答えの方に伺います。断られた理由のほかに、今後に向けたアドバイスや提案はありましたか。該当する番号に○印をおつけください（○印は1つ）。

1. アドバイス・提案があった→Q7へ
2. アドバイス・提案はなかった→Q8へ

Q7 Q6で「1. アドバイス・提案があった」とお答えの方に伺います。それは具体的にどのような内容ですか。

()

Q8 Q3で「2. ある」とお答えの方に伺います。断られた後に、どのような行動を取りましたか。該当する番号に○印をおつけください（○印はいくつでも）。

1. 自社で対応した
2. 他の金融機関に相談した
3. 税理士・公認会計士に相談した
4. 商工会議所・商工会に相談した
5. (公財)21あおもり産業総合支援センターに相談した
6. 中小企業再生支援協議会に相談した
7. 県又は市町村等の行政機関に相談した
8. 取引先に相談した
9. 何の対応もしなかった
10. その他（具体的に)

Q9 Q3で「2. ある」とお答えの方に伺います。最終的にどのように解決しましたか。該当する番号に○印をおつけください（○印は1つ）。

1. 他の金融機関から融資を受けた
2. 自社内で解決した（役員借入など）
3. 取引先からの協力により解決した（売掛金の早期回収や支払サイト延長など）
4. 未解決のまま
5. その他（具体的に)

Q10 Q1で選んだ金融機関（メインバンク）に対する以下のすべての項目の満足度について、該当する番号に○印をおつけください（○印はそれぞれ1つ）。

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない
職員の訪問回数	1	2	3	4	5	6
職員の知識・対応	1	2	3	4	5	6
融資申込手続きの簡単さ	1	2	3	4	5	6
融資審査のスピード	1	2	3	4	5	6
融資や条件変更（金利の引き下げ、金利・元本の支払い猶予、返済期限の延長など）への対応	1	2	3	4	5	6
担保や社外保証人に依存しない融資	1	2	3	4	5	6
職員の目利き力（企業の将来性・技術力などを的確に評価する能力）	1	2	3	4	5	6
試算表、資金繰り表、事業計画等の作成指導	1	2	3	4	5	6
新分野進出や新事業展開の相談に対する対応・支援	1	2	3	4	5	6
経営改善、事業再生、事業承継の相談に対する対応・支援	1	2	3	4	5	6
新商品開発・技術研究開発支援	1	2	3	4	5	6
販路開拓の支援	1	2	3	4	5	6
各種融資制度や補助金の紹介などの情報提供	1	2	3	4	5	6
地域のさまざまな活動への協力・協賛など地域社会への貢献	1	2	3	4	5	6

（回答例）

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない
職員の訪問回数	1	②	3	4	5	6
職員の知識・対応	①	2	3	4	5	6
融資申込手続きの簡単さ	1	2	③	4	5	6
地域のさまざまな活動への協力・協賛など地域社会への貢献	1	2	3	4	⑤	6

Q11 以下のすべての項目（販路開拓や事業資金の確保等）について、貴社では、どの程度の経営課題となっていますか。該当する番号に○印をおつけください（○印はそれぞれ1つ）。

	差し迫った 課題と なっている	中期的な 課題と なっている	課題と なっていない	わからない
販路開拓	1	2	3	4
新商品・新サービスの開発	1	2	3	4
技術力の維持・強化及び 新技術開発	1	2	3	4
老朽化した設備の更新	1	2	3	4
人材の確保・育成	1	2	3	4
事業資金の確保	1	2	3	4

(回答例)

	差し迫った 課題と なっている	中期的な 課題と なっている	課題と なっていない	わからない
販路開拓	1	②	3	4
新商品・新サービスの開発	①	2	3	4
技術力の維持・強化及び 新技術開発	1	2	③	4
事業資金の確保	①	2	3	4

Q12 Q11に記載の経営課題に対して、貴社では、それぞれどのように対応・解決していますか。該当する番号に○印をおつけください（相談先が複数の場合には○印はいくつでも）。
 なお、Q11で「課題となっていない」又は「わからない」とお答えの項目については無記入としてください。

	自社で 対応	金融 機関 に相談	税理士・ 公認会計士 に相談	商工会議所 ・商工会 に相談	21 あおもり産業 総合支援センター・ 県産業技術 センター等の 支援機関 に相談	県又は 市町村等の 行政機関 に相談	取引先 に相談	その他 の機関 に相談	対応 しない ・わか らない
販路開拓	1	2	3	4	5	6	7	8	9
新商品・新サービスの開発	1	2	3	4	5	6	7	8	9
技術力の維持・強化及び 新技術開発	1	2	3	4	5	6	7	8	9
老朽化した設備の更新	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人材の確保・育成	1	2	3	4	5	6	7	8	9
事業資金の確保	1	2	3	4	5	6	7	8	9

(回答例)

	自社で 対応	金融 機関 に相談	税理士・ 公認会計士 に相談	商工会議所 ・商工会 に相談	21 あおもり産業 総合支援センター・ 県産業技術 センター等の 支援機関 に相談	県又は 市町村等の 行政機関 に相談	取引先 に相談	その他 の機関 に相談	対応 しない ・わか らない
販路開拓	1	②	3	④	5	6	7	8	9
新商品・新サービスの開発	1	2	3	4	⑤	6	7	8	9
技術力の維持・強化及び 新技術開発	1	2	3	4	5	6	7	8	9
事業資金の確保	1	②	3	4	5	6	7	8	9

Q13～Q16では、「金融機関（メインバンク）」「商工会議所・商工会」「県又は市町村等の行政機関」「(公財)21あおもり産業総合支援センター」の4機関について、企業の経営課題の解決に向けた支援の現状に対する満足度を伺います。

Q13 貴社の経営課題の解決に向けた支援対応として、「金融機関（メインバンク）」の支援の現状に対する以下のすべての項目の満足度について、該当する番号に○印をおつけください（○印はそれぞれ1つ）。
 なお、金融機関（メインバンク）の支援を受けたことがない場合はQ14へお進みください。

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない
具体的な提案能力	1	2	3	4	5	6
スピード感のある対応	1	2	3	4	5	6
豊富な専門知識・ノウハウ	1	2	3	4	5	6
幅広い人脈やネットワーク	1	2	3	4	5	6
課題解決までの継続的な支援	1	2	3	4	5	6

(回答例 Q13～Q15も同様です)

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない
具体的な提案能力	1	②	3	4	5	6
スピード感のある対応	①	2	3	4	5	6
課題解決までの継続的な支援	1	2	3	4	⑤	6

Q14 貴社の経営課題の解決に向けた支援対応として、「商工会議所・商工会」の支援の現状に対する以下のすべての項目の満足度について、該当する番号に○印をおつけください（○印はそれぞれ1つ）。
 なお、商工会議所・商工会の支援を受けたことがない場合はQ15へお進みください。

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない
具体的な提案能力	1	2	3	4	5	6
スピード感のある対応	1	2	3	4	5	6
豊富な専門知識・ノウハウ	1	2	3	4	5	6
幅広い人脈やネットワーク	1	2	3	4	5	6
課題解決までの継続的な支援	1	2	3	4	5	6

- Q15 貴社の経営課題の解決に向けた支援対応として、「県又は市町村等の行政機関」の支援の現状に対する以下のすべての項目の満足度について、該当する番号に○印をおつけください（○印はそれぞれ1つ）。
 なお、県又は市町村等の行政機関の支援を受けたことがない場合はQ16へお進みください。

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない
具体的な提案能力	1	2	3	4	5	6
スピード感のある対応	1	2	3	4	5	6
豊富な専門知識・ノウハウ	1	2	3	4	5	6
幅広い人脈やネットワーク	1	2	3	4	5	6
課題解決までの継続的な支援	1	2	3	4	5	6

- Q16 貴社の経営課題の解決に向けた支援対応として、「(公財)21 あおもり産業総合支援センター」の支援の現状に対する以下のすべての項目の満足度について、該当する番号に○印をおつけください（○印はそれぞれ1つ）。
 なお、(公財)21 あおもり産業総合支援センターの支援を受けたことがない場合はQ17へお進みください。

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない
具体的な提案能力	1	2	3	4	5	6
スピード感のある対応	1	2	3	4	5	6
豊富な専門知識・ノウハウ	1	2	3	4	5	6
幅広い人脈やネットワーク	1	2	3	4	5	6
課題解決までの継続的な支援	1	2	3	4	5	6

Q17 事業資金の調達など金融全般について、行政や金融機関等へのご意見・ご要望等を自由にご記入ください。

()

Q18 貴社についてお伺いします。

- ・業種 (建設業 製造業 卸売業 小売業 運送業)
(不動産業 サービス業 その他)

※該当するものに○印をおつけください。

・従業員数 () 名)

・直近(今期上期又は前期)の業績 (1. 上向き 2. 横ばい 3. 下向き)

※該当するものに○印をおつけください。

・本店所在地 () 市 町 村)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。